

週間漁海況情報 2026年第6号

令和8年2月10日発行

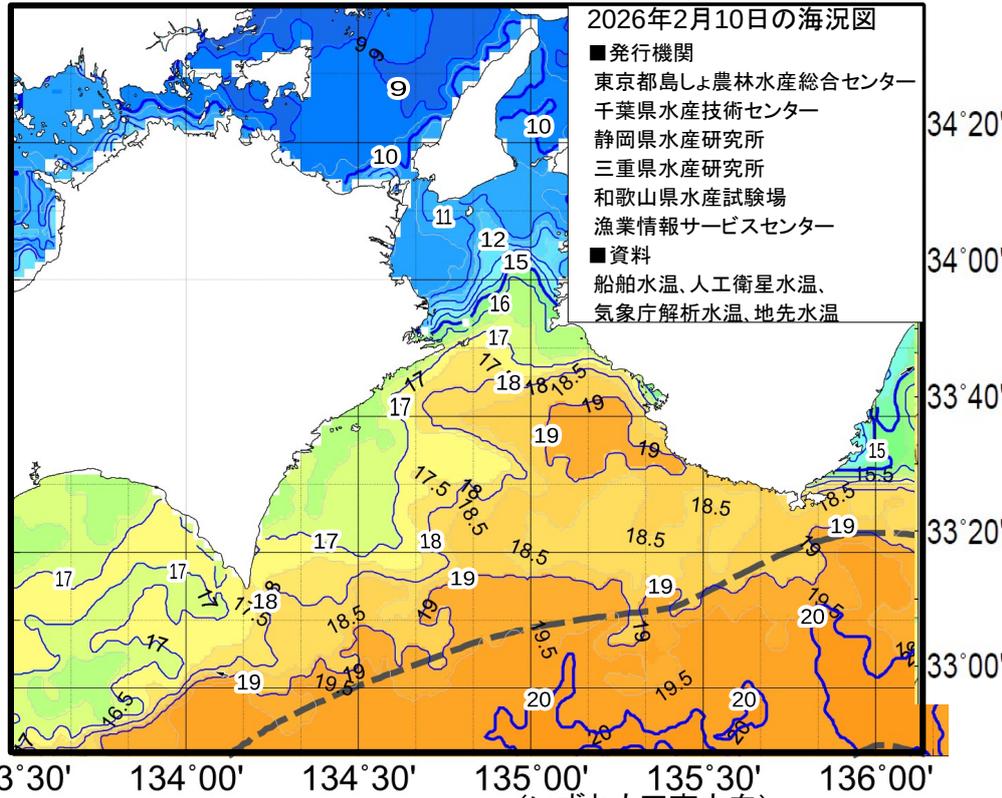
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖35マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は18～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で9～10、紀伊水道で10～16、海部沿岸で16～17℃台となっている。



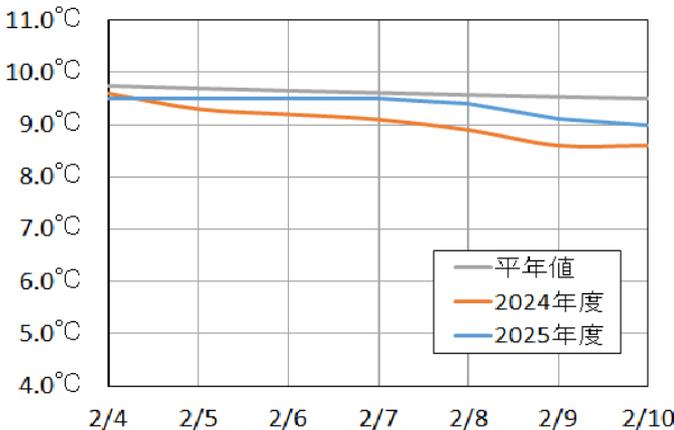
※黒潮の離接岸の表現 (いづれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

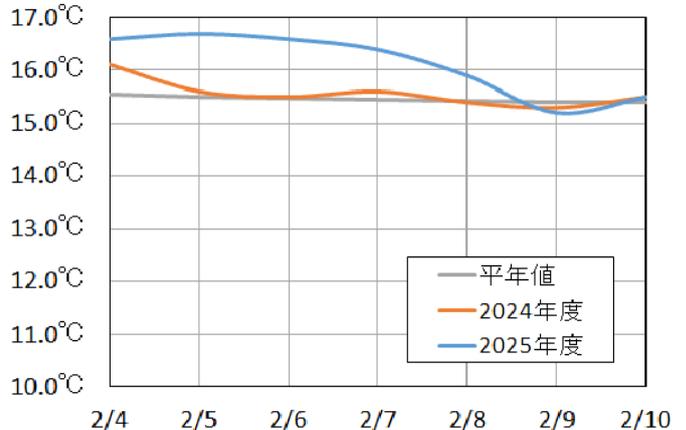
2. 地先水温(2月4日~2月10日)

鳴門地区の水温は、9.5~9.0℃で「平年並み」で推移。浅川地区は、16.7~15.2℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、7.2~6.1℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(2月11日~2月17日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (2月2日～2月8日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

釣りでは、サワラが大きく増えて大主体に0.5ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が0.6ト、ブリがめじろ級主体に0.5ト、

サワラが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが大きく減って1.4ト、コウイカが大きく増えて大主体に1.3ト、

ハモが大きく増えて中主体に0.4ト、ヒラメが大きく増えて大主体に0.4ト、

モンゴウイカが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆あじ級主体に2.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、アオリイカが0.9ト水揚げされた。

大型定置網では、マイワシが大きく増えて19.9ト、ウルメイワシが大きく増えて1ト、

マルアジが大きく増えて0.9ト、ゴマサバが大きく増えて大主体に0.6ト、

マアジが0.5ト、イサキが大きく増えて特大主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	24	サワラ	466	19	大主体	↗↗
	延縄	64	あまだい類	621	10		→
		26	ブリ	530	20	めじろ級主体	→
		15	サワラ	311	21	大主体	↗
	底びき網	27	シリヤケイカ	1,350	50		↘↘
		21	コウイカ	1,290	61	大主体	↗↗
		15	ハモ	410	27	中主体	↗↗
		23	ヒラメ	358	16	大主体	↗↗
		14	モンゴウイカ	300	21		↗↗
	小型定置網	20	マアジ	2,439	122	豆あじ級主体	→
海部沿岸	小型定置網	48	アオリイカ	913	19		→
	大型定置網	6	マイワシ	19,945	3,324		↗↗
		6	ウルメイワシ	980	163		↗↗
		6	マルアジ	871	145		↗↗
		6	ゴマサバ	571	95	大主体	↗↗
		6	マアジ	522	87		→
		6	イサキ	459	77	特大主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘